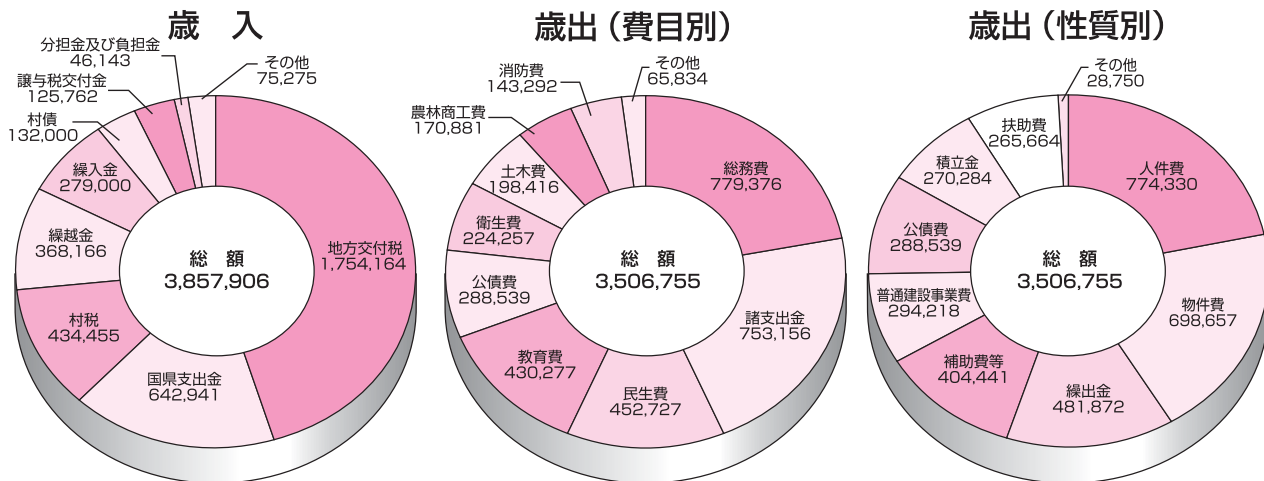


平成28年度 村の家計簿(決算)報告

一般会計の状況

(単位：千円)



※諸支出金については、基金積立金、特別会計繰出金等

1人あたりで計算すると…
 決算額を平成29年3月31日現在の人口(5,681人)をもとに計算すると、次のようになりました。
 ★1人あたりの納めた村税 76,475円 ★1人あたりに使ったお金 617,278円

会計別歳入歳出決算

(単位：円)

会計区分		歳入	歳出	差引	
一	一般会計	3,857,905,969	3,506,754,789	351,151,180	
特別会計	整備基金	43,716,976	37,371,041	6,345,935	
	高松塚壁画館受託事業	13,577,596	13,577,596	0	
	国民健康保険	事業勘定	864,854,816	914,723,008	△49,868,192
		診療施設勘定	15,538,917	15,538,917	0
	後期高齢者医療	86,607,760	86,579,060	28,700	
	介護保険	事業勘定	575,052,349	569,157,850	5,894,499
		サービス事業勘定	5,966,283	3,764,677	2,201,606
	飲料水供給施設事業	6,181,176	6,181,176	0	
	下水道事業	275,157,151	275,057,151	100,000	
	公有地等住宅開発事業	105,760,960	38,460,960	67,300,000	
小計	1,992,413,984	1,960,411,436	32,002,548		
水道事業会計	220,861,644	260,801,990	△39,940,346		
合計	6,071,181,597	5,727,968,215	343,213,382		

基金及び起債の状況

(単位：円,%)

区分		平成27年度末	平成28年度末	増減率
基金	財政調整基金	1,099,947,579	824,274,242	△25.1
	減債基金	163,475,310	163,684,596	0.1
	役場庁舎建設基金	367,776,313	626,341,712	70.3
	文化財保存基金	89,308,016	88,880,320	△0.5
	応援基金	11,843,332	20,402,236	72.3
	その他の基金	3,583,236,235	3,587,402,920	0.1
	合計	5,315,586,785	5,310,986,026	△0.1
起債	一般会計	2,841,422,808	2,708,835,838	△4.7
	特別会計	2,059,149,208	1,924,345,168	△6.5
	水道事業会計	638,462,140	633,110,161	△0.8
	合計	5,539,034,156	5,266,291,167	△4.9

主な事業の内容と事業費

第4次整備計画事業の推進

◆生活環境及び産業基盤の整備

◎整備計画等推進事業【総合政策課】

- ・「明日香村特別措置法」に基づく第4次整備計画の推進及び第5次整備計画に向けての要望活動、及び各関係機関との協議を実施（飛鳥古京を守る議員連盟による現地視察の開催、国県との担当者検討会議の開催）。 849,780円

◎道路整備事業【地域づくり課】

- ・道路改良工事（村道地ノ窪線）を継続して実施。【H17～32】
工事延長 L=144m 用地買収面積 A=1,643.62㎡ 35,273,859円
- ・都市計画道路松前線の従来の予備設計の見直しを実施し、事業効果等を検討した結果、周辺の開発環境を見据え、必要性が高まった時点で再検討を行う。【H28】L=0.6km 4,050,000円

◎水道施設等耐震化事業【地域づくり課】

- ・平成23年から施行してきた水道施設耐震化事業に伴う舗装復旧事業を実施。【H23～28】A=7,051㎡ 33,696,000円

◎公共下水道事業公営企業法適用事業【地域づくり課】

- ・平成31年度地方公営企業法適用化を目指し、固定資産整理及び評価を実施。【H27～30】 12,852,000円

安全で住みたくなるまちづくりの推進

◆防災、医療・福祉・子育て、教育

◎新庁舎建設基本構想策定事業【総合政策課】

- ・現庁舎の課題、庁舎整備の基本理念、新庁舎の必要性及び必要機能を整理し、基本構想を策定（パブリックコメントの実施）。 6,382,800円

◎空き家等の対策及び活用事業【総合政策課】

- ・空き家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、平成27年度に実施した空き家等実態調査の結果の分析等を行い、空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づく、空き家対策計画の策定を実施。 3,326,400円
- ・空き家を商業利用し、地域の活性化につなげるための施設とするために必要な改修工事の設計を実施（岡地区）。 2,052,000円



▲金かめ乗合交通

◎公共交通運行事業【総務財政課】

- ・村民生活の利便性の向上及び村内の交通空白地域を解消させるため、デマンドタクシー（金かめ乗合交通）の実証実験から本格運行を実施。 17,501,696円

◎災害対策事業【総務財政課】

- ・災害発生時において、災害応急対策を円滑に行うため、災害用備蓄品等の充実強化を実施。 5,638,680円

◎防災組織育成事業【総務財政課】

- ・自主防災組織の立ち上げ支援及び防災機材の更新補助を実施。また、住民主体による自主防災組織の設立支援及び訓練を実施。 1,386,840円

◎医療費助成事業【住民課】

- ・必要とする医療を容易に受けられるように、心身障害者医療費、子ども医療費及びひとり親等医療費等の自己負担分の一部を助成。 28,837,705円

◎臨時福祉給付事業【住民課】

- ・消費税の引き上げに際し、低所得者に与える負担増に対する適切な配慮するため、臨時的な措置として給付。 25,587,000円

◎地域医療連携事業【健康づくり課】

- ・「あすか健康プロジェクト健診」事業の AKP48 フォロー健診やすいみんリズム健診を継続実施し、多年代にわたる健康意識の高揚と重症化予防の強化を図った。 6,079,619円

◎新たな介護予防事業の推進【健康づくり課】

- ・高齢者が住み慣れた地域で介護が必要になっても安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築を目指して、生活支援コーディネーターを配置し、介護予防や生活支援サービスの充実・強化を図った。 8,000,000円

◎子ども子育て支援事業の推進【健康づくり課・教育文化課】

- ・子育て世代包括支援センターを開設し、産前・産後サポート訪問や子育て家庭の交流事業の充実、また多様なニーズに対応するために病児や病後児保育を実施し、ファミリーサポート事業の体制整備を図った。 2,758,267円
- ・不妊治療費助成・産後健診助成・給食費負担軽減・幼稚園保育料軽減を実施し、経済的な負担の軽減を図った。 6,685,826円



▲近隣公園トイレ

- ・近隣公園の展望広場にトイレを整備したほか、幼稚園の園庭を開放する等、安心・安全な子どもの遊び場の充実を図った。 17,308,080円

◎防災・安全社会資本整備事業【地域づくり課】

- ・道路、橋りょう等の計画的な点検及び修繕を実施し、施設の長寿命化を図り、地域の道路網の安全性・信頼性の確保を図った。橋りょうの定期点検（26橋）及び橋りょう補修設計（2橋）を実施。
 道路舗装修繕工事 村道平田・阿部山線 L= 800m 村道豊浦・小山田線 L=366m
 舗装修繕測量設計 村道入谷新道線 L= 1,000m 村道豊浦・小山田線 L=366m
 54, 493, 560円

◎幼小中学校経営事業【教育文化課】

- ・幼小中が連携した一貫教育推進に向け、組織体制が充実し、教職員の意識の向上がみられ、地域や家庭とも連携・協働した取り組みが進んだ。また、特別支援員の配置や少人数学級編成・少人数指導の取り組みの充実・強化により子どもたちの学力向上につながった。
 27, 114, 720円

◎放課後児童健全育成事業【教育文化課】

- ・保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校全学年の就学児童に対し、小学校の空き教室を利用して適切な遊びと生活の場を提供し、放課後児童の健全育成を図った。【H25～】
 9, 442, 710円

◎国際教育理解事業【教育文化課】

- ・日頃からネイティブな英語に慣れ親しむことで英語学習に抵抗なく取り組むことができた。また、海外への研修生派遣や教育旅行等で来村した海外の児童・生徒との交流活動等を通じて、児童・生徒が外国や異文化への興味関心をもつきっかけとなった。
 6, 417, 957円

新しい流れを興し、働く場の創出

◆住まい、働く場所、新規就農

◎定住促進事業【総合政策課】

- ・空き家を有効活用し定住促進を図るため、空家バンク制度に基づく支援を実施。（登録奨励金11件、仲介補助金16件、動産整理費用補助金3件、リフォーム工事補助金5件）
 5, 394, 600円
- ・子育て世帯の定住促進を図り、世代間のバランスがとれた人口構成の実現と活気ある村づくりを目指すため、子育て世帯の新築等住宅に対し、助成を実施7件。
 7, 000, 000円
- ・市街化区域内民有地を含む阪合公有地の利活用をモデルケースとして、子育て世代をターゲットにした住宅整備を行うための区画整理事業準備作業と景観に配慮したまちづくりを行うためのワークショップを実施。
 38, 460, 960円



▲公有地等住宅開発事業ワークショップ

◎担い手育成支援事業【産業づくり課】

- ・農業従事者の高齢化や担い手が減少するなかで、新規就農者や集落営農組織が持続的な農業が行えるよう活動を支援（青年就農給付金の給付、薬草栽培等）。
 8, 000, 000円

飛鳥の魅力を磨き、来訪者増加の推進

◆文化財、情報発信、来訪者への案内機能の向上

◎世界遺産登録推進事業【総合政策課・文化財課】

- ・世界遺産登録推進協議会を中心に世界遺産登録に向けての条件整備を行うとともに住民等への周知・啓発を実施。
 3, 033, 070円

◎姉妹都市交流事業【産業づくり課】

- ・姉妹都市扶餘郡との人材、産業、文化などの交流により相互理解と友好親善を図るため、職員交流を実施。
 417, 868円

◎教育旅行推進事業【産業づくり課】

- ・地域の特性を活かした着地型旅行（教育旅行）として、地域経済の活性化を図るとともに、来訪者との交流を通じて、地域振興を図った。【H23～】
 6, 000, 000円

◎観光交流活性化事業【産業づくり課】

- ・明日香村の価値や魅力を広く発信するとともに、誘客や交流を促進するため各種イベントを実施（光の回廊等）。
 9, 000, 000円
- ・明日香村の情報を発地・着地でわかりやすく効果的に伝えるためのパンフレットやウェブ・SNSを整備。
 5, 742, 092円
- ・飛鳥地方において、統一的な案内サインを整備。
 3, 044, 520円

◎飛鳥宮跡保存活用事業【文化財課】

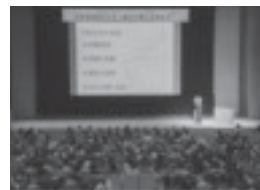
- ・飛鳥宮跡の確実な保存と有効な活用に向け、県と連携して史跡の追加指定及び公有化を促進し、飛鳥宮跡活用委員会を設置して、利活用のあり方を検討。
 267, 520円

◎牽牛子塚古墳等整備事業【文化財課】

- ・牽牛子塚古墳と越塚御門古墳の保存・活用に向け、地質調査及び実施設計を実施。
 798, 696円

◎日本遺産魅力発信事業【文化財課】

- ・日本遺産「日本国創成のとき～飛鳥を翔た女性たち～」を国内外に発信し、観光振興による地域の活性化を実施。
 605, 640円



▲日本遺産講演会

村民等との協働

◆地域住民、各種団体、企業、NPO、学校等との連携・協働

◎村民協働事業【総合政策課】

- ・ 景観づくり協議会による景観形成活動に対する景観配慮意識向上への支援。 313,800円
- ・ 大字単位の景観、環境美化の維持・保全及び伝統行事の継承に対する支援。 39,746,000円
- ・ 住宅等の新增改築に伴う屋根、外壁及び石積みに対する支援。 43,780,200円

◎まちづくり基本計画策定事業【総合政策課】

- ・ 奈良県とのまちづくりに関する連携協定に基づき、飛鳥宮跡周辺地区及び飛鳥駅周辺地区におけるまちづくり基本構想を策定（まちづくり検討会開催）。 1,989,360円

◎社会連携事業【総合政策課】

- ・ 大学との地域連携
 関西大学 ボランティア活動、首都圏講演会の開催、飛鳥京跡復元解説本作成、出前講座の開催。
 東京大学 バーチャル飛鳥京のアプリ化。 7,287,503円

◎芸術文化事業【教育文化課】

- ・ 村内在住の芸術家の掘りおこし、村外の若手作家との交流や村ゆかりの音楽家によるコンサート等、文化の薫り高い村づくりに寄与した。また、公民館活動の充実、各種講座の開催、地域文化の紹介等により、文化を通じた地域活性化を図った。 6,769,161円

地方創生事業

◎飛鳥デザインウィーク事業【総合政策課】

- ・ 飛鳥地方広域圏による歴史的資源の再価値化を図るため、各界著名人による資源活用やものづくりへの発想を語る飛鳥会議、子どもたちのものづくりへの想像力の助長するためのワークショップや体験プログラム作成を考えるワークショップを行い、その内容と飛鳥の魅力を伝える地方創生展を実施。 12,932,689円

◎明日香式農業プロジェクト事業【産業づくり課】

将来的に村が抱える課題を解決するため、農業の担い手確保、歴史的景観の保全等の強化を推進。

- ・ 新たな農業の担い手を育成するため、農業技術や経営を学ぶ機会を提供するとともに、耕作放棄地対策として、省力化野菜の導入及び販売を促進（農業塾の開講、ツルムラサキ等の産地化、グルメイベント（シェフェスタ）の開催）。

15,000,000円



▲外国人来訪者向けパンフレット

◎明日香まるごと博物館プロジェクト事業【産業づくり課】

- ・ 飛鳥の文化や芸能等の魅力を発信するため、さらに内容の充実した古都飛鳥文化祭を開催。 7,500,000円
- ・ 国外からの来訪者を誘客するため、外国人来訪者向けパンフレット（英語、フランス語、韓国語、中国語（繁体字・簡体字）を作成。 5,616,000円

健全化判断比率・資金不足比率を公表します！

明日香村の平成28年度決算に基づき算定された健全化判断比率及び資金不足比率は、次のとおりとなりました。各指標の比率は、すべて早期健全化基準を下回る結果となりましたが、明日香村の財政が厳しい状況であることに変わりなく、今後も引き続き、健全財政への取り組みを強化しなければなりません。

(単位：%)

健全化判断比率	比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	20.00	30.00
実質公債費比率	5.8	25.0	35.0
将来負担比率	33.3	350.0	

早期健全化基準とは： 4つの健全化判断基準のうち、いずれか一つでも「早期健全化基準」以上となると「早期健全化団体」となり、「財政健全化計画」を策定し、自主的な改善努力による財政の早期健全化に取り組まなければならない基準

財政再生基準とは： 4つの健全化判断基準のうち、「財政再生基準」以上となると「財政再生団体」となり、「財政再生計画」を策定し、国、県の強力な関与の下で確実な財政の再生を実行しなければならない基準

1 実質赤字比率

一般会計等（一般会計、整備基金特別会計、高松塚壁画館受託事業特別会計、飲料水供給施設事業特別会計、公有地等住宅開発事業）の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示す指標で、一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。実質収支が黒字であるため、前年度に引き続き、早期健全化基準及び財政再生基準に該当しない状況です。

2 連結実質赤字比率

公営事業会計を含む全会計を対象とした実質赤字額及び資金の不足額の標準財政規模に対する比率です。すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての財政運営の悪化の度合いを示す指標ともいえます。全会計の実質収支額及び資金不足・剰余額の合計が黒字であるため、前年度に引き続き、早期健全化基準及び財政再生基準に該当しない状況です。

3 実質公債費比率

一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。借入金（公債費）の返済額及びこれに準ずるものの額の大きさを指標化し、財政負担の程度を示すものです。実質公債費比率（3か年の平均）は、5.8%で、前年度比1.7ポイント減となり、前年度に引き続き、早期健全化基準（25.0%）、を下回る状況です。

4 将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。将来負担比率は、一般会計等の借入金（公債費）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標ともいえます。

将来負担比率は、33.3%で、前年度比8.6ポイント減となり、前年度に引き続き、早期健全化基準（350.0%）を下回る状況です。

5 資金不足比率

公営企業会計ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率です。公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示す指標ともいえます。

資金不足比率は、下水道事業特別会計におきましては、歳入歳出が同額であるため、そして、水道事業会計につきましては、流動負債より流動資産の方が多いため、資金不足比率は、いずれも経営健全化基準（20.0%）に該当しない状況です。

特別会計名	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業特別会計	—	20.0
下水道事業特別会計	—	20.0

経営健全化基準とは： 自主的かつ計画的に公営企業の経営の健全化を図るべき基準として、資金不足比率について定められた水準